

(1) 附属図書館**① 附属図書館****ア 設置の趣旨（目的）及び組織**

附属図書館は、教育及び研究活動に資するため、図書・雑誌・その他の資料を一元的に収集・整理・保存し、本学の学生及び職員の利用に供するとともに、学生の主体的・能動的な学びのための環境の整備と学修支援の実施を目的として設置されている。その管理運営は附属図書館長が行い、事務は学術情報課図書館チームが担当している。

イ 運営・活動の状況

令和2年度に実施した主な事項は以下のとおりである。令和2年度の入館者総数は70,713人、開館日数は343日であった。

i) 基本学術研究図書・学習用図書の収集・保存

全学の教員に対して推薦依頼を行い、それに基づき基本学術研究図書、学習用図書を収集した。また、シラバス掲載図書の網羅的収集の継続とともに、チーム内でも学習用図書、参考図書、寄贈資料、学生リクエスト図書等の選定を行った。これらの収集により令和2年度は5,346冊を受け入れた。

公益財団法人上廣倫理財団から道徳関係資料約1,000冊が寄贈され、図書を収蔵する書架及び資料整理業務に係る非常勤職員雇用経費の助成もあり、3階に公益財団法人上廣倫理財団寄贈図書のコーナーを令和3年4月1日に設置することとした。

ii) 学修支援の実施

大学院学生協議会の要望を受けての新潟県教員採用試験前の土日4日間の開館時間2時間延長を引き続き実施した。

iii) 図書館利用を促進する取組

学生の参加による選書ツアーを実施し、18冊の図書を購入した。

iv) 新潟県立看護大学図書館との相互協力

例年同様、文献複写料金と貸出条件を学内者扱いとするとともに、10月～11月に蔵書交換会を実施し、相互に蔵書の展示・貸出を行った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 令和元年度改修により特に2階をアクティブラーニングフロアとし、学修をサポートする空間を拡充し、令和2年4月2日にリニューアルオープンした。

ii) 図書館資料購入費

資料購入費が逼迫する中で、第2回附属図書館運営委員会で図書館購入資料選定方針を策定して、2021年電子ジャーナル及び国内雑誌の購読内容を決定した。

iii) 地域社会への貢献

学外者の令和2年度貸出利用登録者総数は360人で、1,541冊が貸し出された。

iv) 資料の配置、保存、収納

改修工事に伴って計画した資料の適切な配置変更を次年度も引き続き実施・調整する。

② 運営委員会**ア 設置の趣旨（目的）及び組織**

i) 組織設置の趣旨（目的）

附属図書館運営委員会は、附属図書館の運営に関する事項を審議するために置かれている。

ii) 組織の構成及び構成員等

附属図書館運営委員会は、附属図書館長、各学系から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）各1人、学術情報課長計7人により構成され、附属図書館長が委員長を務める。

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

令和2年度は、令和2年7月31日（金）、11月5日（木）及び令和3年3月15日（月）の3回開催した。

ii) 審議された主な事項

- ・ 図書館購入資料選定方針の策定
- ・ 2021年度附属図書館経費
- ・ 2021年電子ジャーナルの契約
- ・ コロナ対応の現状報告と対応方針

iii) 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

- ・ 危機管理対策本部会議で作成した「新型コロナウイルス感染拡大防止のための上越教育大学の活動制限指針」に基づいて、附属図書館でも「新型コロナウイルス感染拡大防止のための上越教育大学附属図書館利用者対応方針」を作成し、利用者が安心・安全に利用できるように務めた。
- ・ 「附属図書館におけるアクティブ・ラーニングによる学修及び授業等を実施するための運用方針」の策定等に取り組み、年度計画の達成に努めた。